

タイトル	遊びでできる？対戦でできる？ カードゲームで環境教育
氏名（所属）	居原田晃司（eco ット宇治）
ホームページ	
キーワード	トレーディングカードゲーム、マイアース、生物多様性、気候変動
アピール文	子どもから大人まで人気があるトレーディングカードゲームで環境教育が出来れば文句なし！ 市販されている地球環境カードゲーム「マイアース」を使った環境教育の可能性を報告します。
要旨	<p>「地球が危ない」「環境を大切に」・・・メッセージだけでは、人の心は動きません。人を本質的にわくわくさせる「遊び」を通すことで、環境問題を主体的に考え、行動することができるはず・・・ 子どもに絶大な人気を誇る「トレーディングカードゲーム」こそが、子どもたちにとっての「メディア」になると考えられ、地球環境カードゲーム「My Earth（マイアース）」が誕生しました。</p> <p>環境問題の2大テーマ「地球温暖化」「生物多様化」を遊びながら学べる地球環境カードゲーム「マイアース」は子どもも出来るカードゲームで関東や中部地域ではイベントなどで実践報告が多くされていますが、関西ではあまり報告されていません。そこで自ら体験してみようと、昨年10月に近畿大学農学部学生団体 FeeLink の協力を得て屋外イベントの1コーナーとして「マイアース」を実践しました。また、カードゲームがまだ理解できない小さな子供のために、生き物の種類や名前を遊びながら覚えることができるかのような「いきものさがしゲーム」（どうぶつさがしゲーム、こんちゅうさがしゲーム、うみのいきものさがしゲームの3種類）も並行して行いました。</p> <p>実施結果はコーナーがわかりにくい場所にあったにもかかわらず延べ50名の子どもが参加してくれました。ゲームに夢中になる子、学生相手に負け知らずで勝ち続ける子、ゲームの面白さがわかり、友だちを連れてくる子などイベントで子どもに対して簡単にできる環境教育アイテムだと実証できました。</p> <p>今後さらに子どもにわかりやすくプレーしてもらえるよう、環境問題を理解してもらえるよう工夫し、実践回数を多く、活動の地域を広めていきたいと考えております。</p> <p>【マイアースの遊び方】「生き物」カードを使い地球を守る「地球守護プレイヤー」と、「地球温暖化」カードを使い地球を壊す「環境破壊プレイヤー」に分かれて対戦します。さらに、各プレイヤーは切り札として「人間の活動」カードを使用できます。プレイヤーはカードを集め、自分だけの組み合わせ＝「マイアース」をつくり、相手と勝負します。カードの種類は「陸」「海」「川」があり、登場するカードにはいろいろな環境問題が取り上げられており、遊びながら地球環境に対する理解を深めることができます。カードが同じでマンネリ化しないよう、追加で新しいカードを加えることができます。また、自分で考えたオリジナルカードを作成することも可能です。</p>

●京都・環境教育ミーティング 事例紹介エントリーシート●

※以上の内容は、京エコロジーセンターのホームページで公開されています。